

2005年(平成17年)5月28日(土曜日)



心臓発作時に備え 応急処置法を学ぶ 豊橋西高運動部員ら

部活動の練習中の心臓発作に備え、豊橋市の豊橋西高校の運動部員ら約三百人が二十七日、心臓マッサージなどの応急処置法を学んだ。写真。

豊橋市大山町の医療機

関豊橋ハートセンターの杉浦武治さん(四三)と豊橋南消防署員ら十三人が講師となって実演、説明した。生徒たちは一人ずつ人形を相手に人工呼吸を行っていた。

心停止の初期段階で起こる心室細動を電気ショックで取り除くAED(自動体外式除細動器)の説明もあった。同校では三月に一台設置したが、使用法を知らない生徒も多いという。

杉浦さんは「AEDは効果的だが、あくまで補助。重要なのは、救急隊が到着するまで心臓マッサージを続けること」と呼び掛けた。